

2月2回 (1月29日週配布分)より商品カタログ(コープファミリー)の紙質が変わります

7月1回より「コープファミリー」と「ゆとろぎ+」の紙質を変更していましたが、組合員の皆さんからのお声を受け、2月2回より「コープファミリー」の紙質を「ゆとろぎ+」で使用している白色度の高い用紙に変更します。目的や変更の背景についてご確認いただき、ご理解・ご協力をお願いいたします。



カタログ紙質変更に関するQ&A

Q:そもそもカタログの紙質が変わったのはなぜ?

コープファミリーなどのカタログ用紙は、これまでパルプ100%の「商業用紙」を使用してきました。しかし昨今の原材料高騰により用紙代の値上がりが急速にすすみ、用紙がこの1~2年で4~5割程度値上がり、カタログを発行するための経費も約2億円上昇しました。この経費増を商品価格に転嫁させず、経費負担増を抑えるためにカタログの紙質を見直しました。その結果、北陸3県合計で約1億5,000万円の経費を抑制しました。また、紙質変更にあたり印刷工程を見直したことで、CO2削減(年間で約125t)をすすめました。

Q:7月1回で急に変更になった理由は?

7月1回で変更になった紙面素材「新聞更紙」については、2022年12月に一部の組合員を対象に見本用紙のアンケートを行い、2023年4月には5,000名規模の組合員アンケートを実施し、その結果をもとに紙面素材変更の判断を行う予定でした。しかし、2023年1月に年間7,000万円規模の値上げの申し入れがあり、早急な判断が必要な状況となりました。2022年12月に行ったアンケート結果では「テカリが抑えられ見やすくなった」という声が多く、CO2排出量を削減できるなど環境にも優しい紙面素材であることから、7月よりカタログ用紙を「新聞更紙」へ変更させていただきました。急きょ変更となったこともあり、組合員の皆さまへ変更理由などを十分にご案内することができませんでした。申し訳ございませんでした。
★eフレンズ・COOP宅配アプリのWEBカタログは紙質の変更は関係なく、明るい紙面で商品を見ることができます。

7月の紙質変更についてこのような声をいただいています

暗くて見づらくなった。美味しそうに見えなくなったため購入意欲が湧かず、購入する量が減った。



商品のインパクトは落ちたが、格段に見やすくなったので注文時のストレスが減った。変更したことで環境負荷の軽減やコスト削減になるのもいい。



カタログの読みやすさの向上と経費削減をすすめるため、実証実験をすすめてきました。実験にご協力いただいた組合員の皆さま、ありがとうございます。今後も組合員の声を受けとめながら、生協が持続可能な組織として運営できるよう取り組みをすすめていきます。

紙質が突然変わり、びっくりしたので事前に案内してほしかった。変更の目的や理由について今も知らない組合員がいると思うので、繰り返し説明が必要だと思う。



カタログの紙質変更についてのお問い合わせは、コープいしかわコールセンター(0120-759-853)までお願いします。